

6 鉄製鉗先

野古A遺跡23次調査で、RA061より鉄製鉗先が出土した。岩手県内では資料が少なく、定量分析が行える状況はない。しかし、その性格上、古代人の生業の一端を示す貴重な資料であり、今後の検討のために、県内出土例の集成を試みた。

今回集成するにあたり、既刊の報告書に掲載されているものを基本としているが、出土が確認できた未報告のものも含まれている。それら未報告のものについては、調査担当者の方々の協力の下、現時点での報告に近い形で取り上げられるよう努めた。

鉄製鉗先が出土した遺跡は、野古A遺跡をはじめ、久慈市中長内遺跡、旧西根町（現八幡平市）子飼沢山遺跡、盛岡市堰根遺跡、旧石鳥谷町（現花巻市）大西遺跡、宮古市赤前V遺跡の6遺跡で、遺跡毎の出土点数状況を見ると、中長内遺跡、子飼沢山遺跡、堰根遺跡、大西遺跡が各2点ずつ、野古A遺跡と赤前V遺跡が各1点ずつの計10点となっている。2点出土している遺跡はいずれも同一遺構内の出土である。

以下、各資料についての特徴等を報告より一部引用しつつ見していくこととする（第96図・第12表）。なお、No. 1（野古A遺跡出土遺物）については本書にて紹介しているため割愛する。

No. 2, 3 久慈市 中長内遺跡出土資料

RA516号住居内のはぼ同一地点、同一層位よりの出土である。時期は平安時代とされている。「いずれも断面形は四角形状で先端部にはかえしが設けられており、「茎部はやや平らになる」かえしは反り気味のものと直線的なものがある。

No. 4, 5 旧西根町（現八幡平市）子飼沢山遺跡出土資料

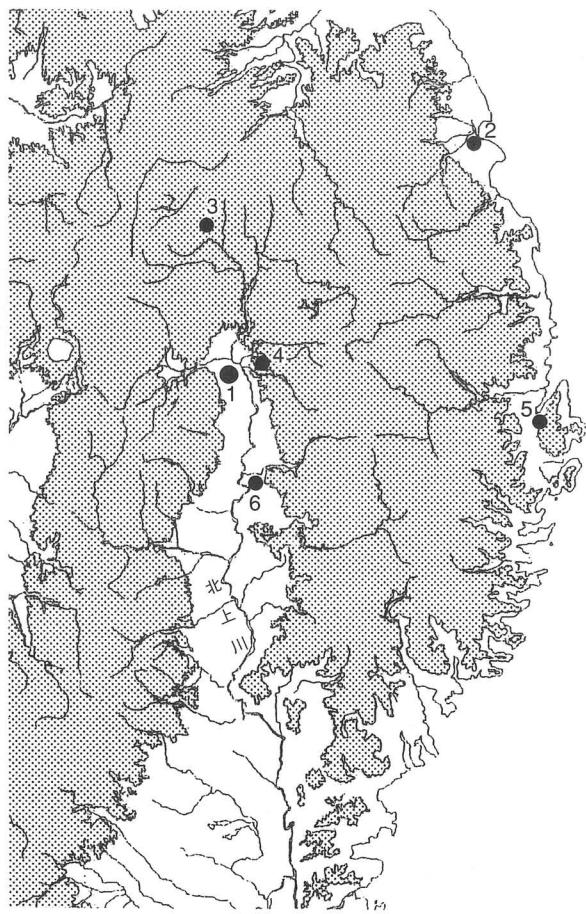
5号竪穴住居跡（焼失住居）北側床面よりの出土である。時期は平安時代とされている。「2つの個体を撫り糸で縛った」状態での出土である。断面形は茎部がやや平らな板状、体部が四角形状、先端部に向かうに従い楕円状となっている。

No. 6, 7 盛岡市 堰根遺跡出土資料（未報告）

RA508（焼失住居）内、同一グリッド同一層位よりの出土である。時期は平安時代。断面形は茎部がやや平らな板状で、先端に向かうにつれ四角形状になる。かえしが後からつけられた痕跡が見受けられる。

No. 8 宮古市 赤前V柳沢遺跡出土資料

A-2号竪穴住居跡床面よりの出土である。時期は「平安時代？」とされている。断面形は「1cm角に面取りしている」。茎部はやや平ら気味になる。「ミツマタ鉗の一本か」とある。



1. 野古A遺跡 2. 中長内遺跡 3. 子飼沢山遺跡
4. 堰根遺跡 5. 赤前V遺跡 6. 大西遺跡

第95図 岩手県における鉄製鉗先出土分布

No. 9, 10 旧石鳥谷町（現花巻市）大西遺跡出土資料

A区住居跡4（焼失住居）内、「2本が一組になった状態で」の出土である。時期は平安時代とされている。断面形は体部に至っても幅に対して厚さがやや小さい長方形である。9は先端部が欠損しているものの、10と対になって出土していることから、鉈の茎部とされているようである。

以上、岩手県内における鉄製鉈先の出土事例をみてきた。特徴として、多くの遺跡で2点ずつ出土しており、しかも2点が1対になった状態で出土している点と、いずれも平安時代の竪穴住居跡からの出土である点が挙げられる。中でも、子飼沢山遺跡出土例は2点が撚糸で束ねられた状態で出土しており、このような事例から本来2本一組であった可能性が考えられる。なお、赤前V柳沢遺跡出土例は1点のみの出土であるが、A-2号竪穴住居跡は大部分が調査区外に位置しており、未調査部分に対となる鉄製鉈先が存在する可能性もある。

次に、寸法については長いもの、短いものに分類することが可能である。長いものは全長30cm前後、短いものは全長25cm前後でまとまる傾向にある。しかし、これら長短の差が何に起因するものか現段階ではわからない。今回の野古A遺跡出土資料は、子飼沢山遺跡出土資料とともに長いタイプに属する。

また、出土遺跡の分布についてであるが、当初は漁撈具という性格上、沿岸地域に多く分布するものと予想していたが、内陸地域での出土も比較的高い割合で認められた。鉄製鉈先が漁労具であるとすれば、内陸地域においては河川などの淡水域で使用された可能性も視野に入れる必要があろう。

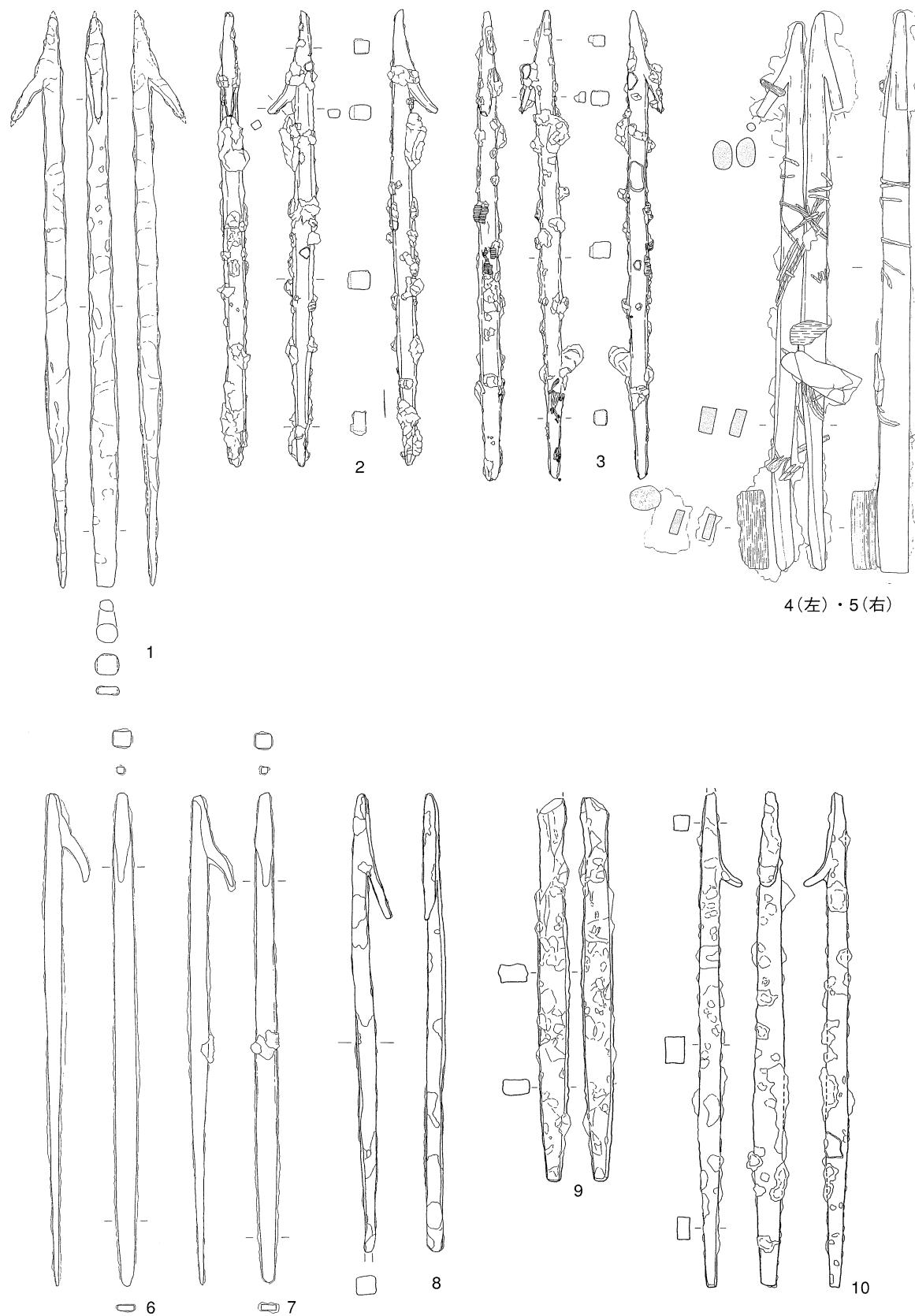
いずれにせよ現段階では、分布傾向や使用状況等を検討するには事例があまりに乏しく、今回は資料紹介にとどめる事とする。今後の更なる調査の積み重ねによる資料の充実に期待したい。（立花）

参考文献

- 久慈市教育委員会 1995 『中長内遺跡』 久慈市埋蔵文化財発掘調査報告書 第8集
 福島大学行政社会学部考古学研究室 2000 「調査報告 西根町子飼沢山遺跡、暮坪遺跡発掘調査概要Ⅱ」『岩手考古学』第12号
 宮古市教育委員会 1999 『赤前Ⅲ遺跡 赤前Ⅳ八枚田遺跡 赤前V柳沢遺跡 赤前VI釜屋ヶ沢遺跡 小堀内Ⅲ遺跡』宮古市埋蔵文化財調査報告書 53
 (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2006 『大西遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団文化財調査報告書第479集

第12表 岩手県内出土鉄製鉈先

No.	遺跡名	市町村	報告書掲載 No.	遺物名称	出土遺構	出土層位	計測値 (cm)			長短
							全長	幅	厚さ	
1	野古A	盛岡市	第47図5	鉈先	RA061	埋土下層	31.4	2.8	1.5	長
2	中長内	久慈市	第146図61(F-1)	鉈	RA516	床やや上	24.0	1.0	1.1	短
3	中長内	久慈市	第146図62(F-2)	鉈	RA516	床やや上	24.7	0.9	1.0	短
4	子飼沢山	旧西根町(現八幡平市)	第17図9(図上)	鉄製品(鉈)	5号竪穴住居跡	床面	29.4	1.5	1.0	長
5	子飼沢山	旧西根町(現八幡平市)	第17図9(図下)	鉄製品(鉈)	5号竪穴住居跡	床面	30.0	1.4	1.0	長
6	堰根	盛岡市	未報告	鉈1	RA508	C層	26.2	1.1	1.0	短
7	堰根	盛岡市	未報告	鉈2	RA508	C層	26.0	1.1	0.9	短
8	赤前V	宮古市	第58図5	鉈	A-2号竪穴住居跡	床面	24.1	1.0	1.0	短
9	大西	旧石鳥谷町(現花巻市)	第25図59	鉈?	A区住居跡4		20.1	1.9	1.0	一
10	大西	旧石鳥谷町(現花巻市)	第25図60	鉈?	A区住居跡4		25.7	2.2	1.4	短



第96図 岩手県内出土鉄製鋸先 (S=1/3)